

図書館だより

第51号 西原町立図書館

TEL. 944-4996 FAX. 944-4997

Eメール library@town.nishihara.okinawa.jp

町立図書館
マスコットキャラクター



干支(うし)・お正月資料展

日時：1月7日(水)～23日(金)
場所：閲覧室 カウンター前
内容：今年の干支(うし)とお正月関連資料約220点

あけましておめでとうございます。
昨年中は、多くの皆様にご利用いただき、誠にありがとうございました。今年も皆様により本との出会いがたくさんありますよう、職員一同、努力していきたいと思っておりますので、今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。



図書館の仕

相談業務(レファレンス・サービス) ってなあに?

図書館は、資料の貸出しだけでなく、みなさんの日常生活における素朴な疑問から専門的なことまで相談を受け図書館職員が調査し、資料に基づいて回答いたします。これを図書館におけるレファレンス・サービス(相談業務)といいます。その質問に対応すべく、西原町立図書館には、10万冊の所蔵資料がありますが、県内公共図書館には、約300万冊の蔵書があり、また県外の公共図書館の資料も利用できます。さらに国立国会図書館は800万冊の資料を所蔵しており、他館の資料については、相互貸借という制度によりこれらの資料を借り受けることができます。これらの資料を利用し、みなさんの相談に対し、回答することができます。

なお、ご質問は、ご来館いただくか電話、FAXでも受付けておりますので、お気軽に図書館までご連絡ください。日常生活に密着した疑問や質問にお答えし、町民の方々に、より活用される図書館づくりを目指しております。

利用案内(予約・リクエスト)

予約

貸出中の図書館資料に予約をすると、当該資料の返却後、予約者へ優先的に提供されます。予約は1人合計5件までで、うちCD、DVD、ビデオ等は2件までです。(件数は貸出又は予約取消した時点で該当件数分が空くこととなります。)

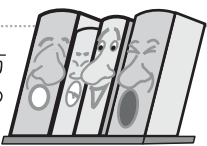
リクエスト

図書館に所蔵されていない資料を購入または相互貸借(他の図書館から借り受けて提供)する制度です。リクエスト(購入)は1年度につき5件までとします。ただし、リクエストした図書がすべて購入できるとは限りません。相互貸借で対応したり、購入をお断りする場合があります。なお、雑誌・マンガ・CD・DVD・ビデオ等は受付できません。ご了承ください。

※リクエストは電話でも受付しています。予約については、電話、図書館内検索機、図書館HPでも受付しています。くわしくはカウンター職員にお尋ねください。

図書館からのお知らせ

ご自宅に返却期限の過ぎた図書館の本・ビデオ・CDなどはありませんか? 待っている方がたくさんいます。図書館も大変困っています。早めの返却をお願いします。図書館が閉まっている時は、正面玄関右手にある「返却ポスト」をご利用ください。



図書館カレンダー



1月 JANUARY						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1日～3日 年始休館
12日 成人の日
4日 振替
13日 振替

開館日

【火～金】
午前10時～午後7時
【土・日】
午前10時～午後5時

■は休館日です。

休館日

毎月曜日
館内整理日(第3木曜日)

2月 FEBRUARY

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

11日 建国記念の日



日時：1月18日(日)午前11時～
場所：町立図書館 2階集会室
内容：「雪渡り」

10月	開館日数	25日
来館者数	7,797人	(1日平均 600人)
貸出点数	15,423点	(1日平均 1,186点)
一般図書	7,262冊	郷土資料 298冊
児童図書	1,864冊	ヤング・アダルト 829冊
絵本	2,222冊	雑誌 1,239冊
紙芝居	237冊	視聴覚資料(CD・DVDなど) 1,472点

おはなし会のお知らせ

日時：1月11日(日)、25日(日) 午後2時～
場所：おはなしのへや
図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせ、歌、手あそびなど楽しい内容になっています。親子でお楽しみください。

紙芝居上演のお知らせ

日時：1月10日(土)、17日(土) 午前10時30分～
場所：おはなしのへや
図書館ボランティアによる紙芝居の上演を行っています。なぞなぞなどを取り入れ、楽しく行っています。ぜひ、ご参加ください。

町立図書館 町史だより



カー(井戸)の話

謹賀新年。みなさんはどのよう
な年を迎えましたか? 今年希望
に満ちた一年にしたいですね。
さて、新年の行事といえば、年
始(はら)りではないでしょうか。そこ
でしばしば話題になるのが、旧正
月のフカミジ(若水)の話です。
若水とは、元旦の早朝、子どもた
ちが村のカー(井戸)から汲んだ
水を家に持ち帰り、ヒヤカン(火
の神)などに供え、主婦たちが家
族の健康を願うものです。西原町
ではそれに加え、若返りの水とし
て、顔などを洗っていたといいま
す。この行事は近年みられなくな
りましたが、以前は井戸と人の生
活が密接に結びついていました。
そこで今回は、町内に残る井戸を
ご紹介したいと思います。

イフォーウカー

字内間のカヤブチ御殿横にある
イフォーウカーは、縁結びの水で
あるといわれ、一ピーチ(結婚式)
の時にはここの井戸水を使ってい

たそうです。また、字森川にある
一貫ガも同じように使われてい
たといえます。

ユンブシガー

我謝集落の西
側、運玉森の北
側に位置するユ
ンブシガーは
「エボシガー」
(烏帽子泉)と
もいわれ、長方
形に掘り込まれた井戸です。この井
戸は、一七三二年に編纂された『琉
球国由来記』に天女伝説として記
されています。その内容は、古波
津瀬也という小波津出身の男が水
浴びをしていた天女の羽衣を隠し、
天女と結婚。後に羽衣を隠したこ
とを知られ、天女は子どもを連れ
て天に帰ったという話です。また、
その他にも聞得大君(琉球王国最
高の神女)らが二、三月にユンブ
シガーで祭祀を行ったということ
も記されています。



ユンブシガー